

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和6年度)

施設名	宮崎県屋外型トレーニングセンター
指定管理者	シーホース宮崎 代表構成員 株式会社 馬原造園建設
指定期間	R5.4.1～R8.3.31
県所管部課	スポーツランド推進課

1 施設利用状況

指 標		R5	R6	増減理由等
利用者数(人)		30,638	27,363	利用人数は減少したものの、ラグビー日本代表合宿等施設を終日利用する団体の使用日数が伸びたため、利用料金収入が増加している。 また、プロチーム以外に陸上実業団や少年サッカー大会など、県内外で多くの団体等の利用がある。
利用件数(件)		1,099	1,199	
利用料金収入(千円)		11,631	16,541	
コ メ ン ト	利用件数及び利用料金収入について、想定を大きく上回る状況である。団体の終日貸切利用が多くなり、広く多くの人に利用してもらう機会が減る可能性もあるため、適切な管理運営を行いながら、利用者数の増加に努める必要がある。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収 入	R5	R6	支 出	R5	R6
指定管理料	52,800	52,800	人件費	13,426	15,167
利用料金収入	11,631	16,541	光熱水費	6,852	8,847
物価高騰対策	1,952	569	施設維持管理費(芝管理肥料・資材、機器賃借料 等)	20,880	23,366
			施設運営管理費(施設管理委託料、消耗品 等)	25,864	24,080
			利用料金納付金	1,677	4,132
合 計(①)	66,383	69,910	合 計(②)	68,699	75,592
収支差額(①－②)	-2,316	-5,682			

コメント	年間を通してプロチームやナショナルチームの受入環境を整える必要があったことから、芝管理に要する機械の賃借料が増加した。また、施設の利用時間が前年度と比較して伸びていることから、その分光熱水費が増加している。今後は良好な施設環境を維持しながらも経費削減に努めるとともに、安定した利用料収入を確保していく必要がある。
------	--

3 管理運営状況

事 項	実 施 内 容
清掃	日常清掃
維持管理業務	保守・点検 アクセスポイント保守、消防設備保守、電話保守点検、保安監督業務
	警 備 機械警備、巡回警備
	修 繕 芝生用機械整備点検
	備品等管理 備品点検
	安全対策 センター全域巡視
	そ の 他 設計・施工業者との半年点検、1年点検を通じて施設の維持・管理に努めた
企画運営業務	サービス提供体制整備 ホームページの管理運営、SNS(Instagram、Facebook)による情報発信
	イベント等ソフト面充実 サッカー教室の実施、キッチンカー販売、備品貸出
	施設設備等ハード面充実 施設利用者の意見を反映したトレーニング用具・機器の導入検討
	そ の 他 なし
管理運営体制	職員研修の実施、出勤時及び退勤時のアルコールチェックを実施
コメント	利用者が安心安全に施設を利用できるよう、引き続き適切な管理運営を行い、より良いサービスの提供に努める必要がある。

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	令和6年11月から令和7年3月実施(60名回答)
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
代表やプロチームの合宿により、希望通りの予約が取りづらい	県と情報共有し、今後の予約のあり方に向けた検討を実施
ミニゴール、少年用ゴールの貸出し	前年度からの要望であり、自主事業として貸出しを実施

5 総合評価

評価コメント	協定書に基づき、適正な管理運営が行われている。特に施設環境については利用者から高い評価を得ており、利用料金収入が大きく増加したことは評価出来る。
今後の課題と対応	継続した利用料金の確保及び支出の低減化・平準化を図り、収支の黒字化に向けた取り組みが必要。